

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	大野 宏明	(****年**月**日)
本籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(リハビリテーション学)	
学位授与番号	乙第24号	
学位授与日付	平成27年3月13日	
学位授与の要件	学位規程第3条第4項該当	
論文題目	認知的視点を統合した効果的な精神科作業療法の研究	
審査委員	教授 井上 桂子	教授 渡邊 進
	教授 古我 知成	

博士論文内容の要旨

本論文の目的は、精神科作業療法に認知行動障害にアプローチする技法を取り入れることが効果的であるか検討することであった。第1章では、認知機能リハビリテーションを取り入れた作業療法の効果検証を行った。統合失調症患者の作業遂行能力と認知機能障害との有意な関連を明らかにした。さらに、統合失調症患者に介入した結果、認知機能、対人関係、社会生活能力が改善した。第2章では、認知行動療法を取り入れた作業療法の健康管理への効果検証を行った。精神障害者の健康管理に関する食行動や健康行動の自己効力感と認知機能との関連及び肥満群と非肥満群の認知的特性を明らかにした。さらに、肥満の精神障害者に対して介入を実施したところ有意な改善が見られた。第3章では、認知行動療法を取り入れた作業療法の症状管理への効果検証を2つの症例研究によって行った。本研究の結果、認知機能や認知の歪みに視点を置くことで患者の病理や生活上の問題を患者と共有しながら共同で治療を進めることが可能であった。

博士論文審査結果の要旨

本論文は、認知的視点を統合した効果的な精神科作業療法に関する研究であり、意欲的かつ大変な労作である。主に統合失調症患者を対象に、8つの臨床研究をまとめて書かれたものである。論文は、序章での統合失調症に対する作業療法の問題点を提起するところから始まり、100ページを超える大作である。論文は、全体的に流れよく構成されており理解しやすい。論文内容は、権威ある学術雑誌8編(和文誌：7編、英文誌：1編)に掲載されており、質・量ともに十分保障されている。また、本研究のレベルの高さと新規性を示している。

さらに、予備審査会での指摘に対しては十分な訂正がなされていた。

審査の結果、本論文は博士論文に十分に値し、合格と判定された。